



健康支援課
☎973-3209

「女性のガン」についてー！ まだ間に合う 個別検診のすすめ

うるま市の死亡原因の1位はガンです

平成18年うるま市の死亡原因は、第1位悪性新生物(がん)25%、第2位心疾患12.5%、第3位肺炎10.8%となっています。

がん死亡の内訳では肺がん、胃がん、大腸がん、肝臓がんの順になっています。これらのがんは検診を受け、早期発見・早期治療により身を守ることができる、決して怖い病気ではありません。今回、増加傾向にある女性のガンにスポットをあてて疾病予防、早期がんに対策を考えていきたいと思います。

女性のガンうるま市の状況

女性特有とされるがんが、子宮がんと乳がんです。

うるま市子宮・乳がんの検診受診率、死亡数の実績から、

①検診受診率(平成19年度)は子宮頸がん21.9% ※県平均21.5% 乳がん20.8% ※県平均12.2%です。

※県平均 H18年度地域老人報告
検診はしっかり受けたのにその後精密検査未受診者がみられます。『あなたのための健診?』今一度、健診を受ける意義を個人しっかり考えましょう。検診からのがん発見も毎年数名以上います。紹介状が出た方はきちんと受診をする事が大事です。

また、検診からのがん発見は早期がんがほとんどで、治癒率も高くなることから、若年層から年一回検診でチェックすることも大切です。

②死亡数(平成18年) 子宮がん8人、乳がん2人。

毎年子宮がん、乳がんで亡くなられる方がいます。予防可能な疾患でもあり早期発見・早期治療であれば、とても残念でなりません。

子宮がんとは??

・子宮頸部がん

子宮頸部や頸管の上皮から発生し外子宮口に多く発生します。 ※ヒトパピローマウイルスの感染で起きるとも言

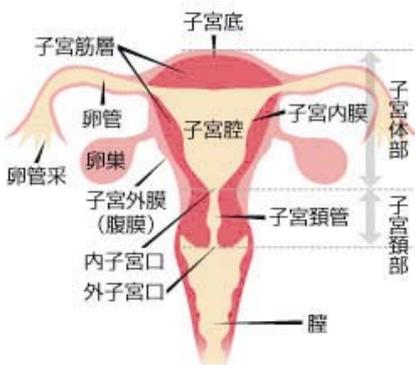
われています。初期には自覚症状はなく、進行すると不正出血やおりものが増えます。

※ヒトパピローマウイルスとは、ありふれたウイルスで性交渉時に感染し自然に消えるのが普通です。まれに、持続感染してがんになります。感染を予防するには、正しくコンドームを使用することが重要

・子宮体部がん

閉経後50〜60代に多く妊娠経験のない方、排卵障害のあった方は要注意。症状は、初期段階から不正出血、下腹部痛などがあります。

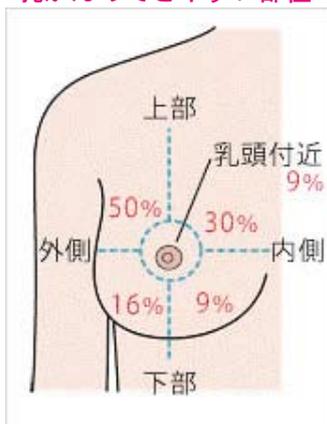
子宮の構造



乳がんとは??

乳腺にできる悪性腫瘍です。乳房のしこりやえくぼ、乳首からの分泌物などの症状があります。

乳がんのできやすい部位



予防で大切な事

- ・毎年1回はきちんと検診を受ける。
- ・うるま市では個別検診を12月26日まで実施しています。
- ・検診結果で何らかの所見があればしっかり早期受診する。
- ・月一回定期的に乳房の自己検診を行う。

がんを防ぐための12ヶ条に取り組み。(広報うるま9月号で掲載)